



令和4年5月17日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel: 03-5214-8404 (広報課)  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 第1回羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞） 受賞者の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、第1回羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）の受賞者を決定しました（別紙1）。

JSTは、科学技術イノベーションの創出に向けて女性研究者の活躍を推進しています。特に20歳台後半から30歳台前半の時期は、研究者としての活躍が最も期待されると同時に多くの女性はライフイベントが想定される時期と重なることから、一層の支援が求められます。そこで令和3年度、JSTは駐日ポーランド共和国大使館とともに、日本の女性研究者のより一層の活躍推進に貢献することを目的に、国際的に活躍が期待される若手女性研究者を表彰する「羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）」を創設しました。本賞は、ポーランドが生んだ偉大な女性研究者 マリア・スクウォドフスカ＝キュリーが、30歳台前半での功績が認められ、後にノーベル賞を受賞したことにちなみ、その名を冠しています。

第1回となる今回は、令和3年10月1日から12月13日まで応募を受け付け、外部有識者からなる選考委員会による審査を経て（別紙2）、最優秀賞1人、奨励賞2人の受賞者を決定しました。

また、選考において、奨励賞に匹敵すると評価できる応募者に対し、特別賞1人への授賞も決定しました。

なお、日本電子株式会社（JEOL）の協賛により、最優秀賞に50万円、奨励賞に各25万円、特別賞に10万円を賞金として贈呈します。

詳細につきましては、別紙および下記のホームページを参照してください。

URL : <https://www.jst.go.jp/diversity/researcher/mscaward/>

### <添付資料>

別紙1：第1回羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）受賞者

別紙2：羽ばたく女性研究者賞選考委員会 委員一覧

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部 ダイバーシティ推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

加藤 修（カトウ オサム）

Tel : 03-5214-8443

E-mail : [diversity\[at\]jst.go.jp](mailto:diversity@jst.go.jp)

第 1 回羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）受賞者  
（敬称略）

○最優秀賞

賞金：50万円

副賞：ポーランドへの渡航・研究機関などを訪問するための滞在費を支弁

山下 真由子（ヤマシタ マユコ） 京都大学 数理解析研究所 助教

<専門分野>

数理解析

<経歴>

2019年 東京大学 大学院数理解析研究科 博士課程 中途退学

2019年 京都大学 数理解析研究所 助教

2022年 東京大学 大学院数理解析研究科 博士（数理解析） 取得

<受賞理由>

山下氏は、非可換幾何学を専門とし、数学のみならず物理学との境界における場の理論の研究をしており、圧倒的に学術的プレゼンスが秀でている。数学での大きな国際会議のプレナリー講演に招待されるなど、すでに世界的にもその実力が高く評価されており、将来が非常に楽しみな逸材である。

○奨励賞

賞金：各25万円

木邑 真理子（キムラ マリコ） 理化学研究所 開拓研究本部 基礎科学特別研究員

<専門分野>

宇宙物理学

<経歴>

2017年 日本学術振興会 特別研究員（DC1） \*2020年3月まで

2020年 京都大学 大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 博士課程 修了

2020年 理化学研究所 榎戸極限自然現象理研白眉研究チーム  
基礎科学特別研究員

<受賞理由>

木邑氏は、ブラックホール近傍のガスから放出されるエネルギーを可視光からX線まで幅広い波長を組み合わせて観測するという研究の独創性が極めて高い。幅広く共同研究を構築する能力に長けており、また天文学に対する熱意の高さから課題設定に主体性があり、この分野を極めていく将来性が感じられる。

塩田 佳代子（シオダ カヨコ） エモリー大学 ロリンス公衆衛生大学院 疫学学科および環境衛生学科 疫学者

<専門分野>

感染症疫学

<経歴>

2014年 米国疾病予防管理センター（CDC）勤務 \*2016年まで  
2020年 イェール大学 感染症疫学 博士課程 修了  
2020年 エモリー大学 感染症疫学者  
兼任：世界保健機関（WHO） 統計コンサルタント  
兼任：酪農学園 大学獣医学群 特任准教授  
兼任：Blue Industries株式会社 顧問

<受賞理由>

塩田氏は、感染症疫学・数理モデルの専門家として、すでに世界30カ国との共同研究を行っており、WHOの統計コンサルタントを務めるなど、国際性や人類への貢献度と研究の質が高い。プレゼンテーションやコミュニケーションの能力は群を抜いており、説明能力の高い研究者として新しいロールモデルとなりうる。

○特別賞

賞金：10万円

齊藤 真理恵（サイトウ マリエ） ノルウェー生命科学大学 生物科学部 統合遺伝学センター Principal Investigator

<専門分野>

ゲノム進化学

<経歴>

2017年 東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 博士課程 修了  
2017年 ニューヨーク州立大学バッファロー校 博士研究員  
2020年 シカゴ大学 博士研究員

2020年 ノルウェー生命科学大学 生物科学部 統合遺伝学センター  
Principal Investigator

<受賞理由>

齊藤氏は、生物の遺伝的基盤を解き明かすゲノム情報学、遺伝統計学を専門としながら、世界で活躍する研究者育成の一環として、海外で若手のメンタリングを行いグループを率いるなど、高いリーダーシップを持ち合わせている。多様な人々とのネットワークを構築して研究を発展させる積極的な姿勢は、世界に羽ばたく女性研究者のロールモデルにふさわしい。

## 羽ばたく女性研究者賞選考委員会 委員一覧

(敬称略、委員は五十音順)

岩崎 明子 (委員長)	イェール大学 Sterling Professor of Immunobiology 免疫学 冠教授 ハワードヒューズ医学研究所 正研究員
岩尾 エマ はるか	Google Cloud デベロッパーアドボケイト
大栗 博司	東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 カリフォルニア工科大学 フレッド・カブリ冠教授 理論物理学研究所 所長
小谷 元子	東北大学 理事・副学長 (研究担当) 理学研究科 数学専攻 教授
染谷 隆夫	東京大学 大学院工学系研究科長・教授 理化学研究所 主任研究員・チームリーダー
沼田 圭司	京都大学 大学院工学研究科 教授 理化学研究所 環境資源科学研究センター チームリーダー
原田 尚美	海洋研究開発機構 地球環境部門 部門長
日比谷 潤子	聖心女子学院 常務理事 国際基督教大学 名誉教授
Tomasz M. Rutkowski	理化学研究所 革新知能統合研究センター 研究員 東京大学 リサーチフェロー

(令和4年5月17日現在)